

## クラウドサービス 法人向けに開始

### 青い森クラウドベース

六ヶ所村の大規模データセンターを運営する「青い森クラウドベース」(弘前市、長内睦郎社長)は7日、法人向けにデータを保管するクラウドサービスを同日始めたと発表した。特徴は月額固定の料金体系で、使用量に応じた料金体系(従量課金)に比べ事業計画や予算計画が立てやすくなるという。

サービスの名称は「青い森クラウドサービス」。企業がシステムを構築する際、サーバーやネットワーク機器を自社で設置、運用するのに対し、インターネットを介したクラウドサービスは、初期費用を大幅に抑えられるという利点がある。

同社は外気や雪氷を冷房に活用した省エネルギー型が特徴で、クラウドサービスの利用料金も安価に設定できたという。

長内社長は「従量課金が標準的なクラウドサービスの料金体系を変えたいという思いがある。このサービスを広めて、六ヶ所村をデータセンターの基地にしていきたい」と抱負を語った。